



# 《公開シンポジウム》「へだたり」の哲学、人間理解の深化、共生社会の模索

—牧野英二著『京都学派とデイルタイ哲学』をめぐる対話—

Wilhelm Dilthey  
×  
Nishida Kitaro  
Tanabe Hajime  
Watsuji Tetsuro  
Miki Kiyochi

京都学派と  
デイルタイ哲学

牧野英二  
日本近代思想の  
忘却された水脈

Kyoto School and  
the Philosophy of Wilhelm Dilthey

牧野英二著『京都学派とデイルタイ哲学—日本近代思想の忘却された水脈』(法政大学出版局、2024年8月)は、ヴィルヘルム・デイルタイ(1833-1911)の哲学が深くかつ静かに京都学派の哲学に影響を与え続けた経緯を浮き彫りにしました。同書は独自の哲学交流史に関する精緻な研究であると同時に、デイルタイに淵源する「歴史的理性批判」を、京都学派の伝統を超えて、現代日本社会に差し向けようとしています。そうした挑戦的な意図に共感して、このたび私どもは、同書を起点として《「へだたり」の哲学、人間理解の深化、共生社会の模索》へと議論を発展させる公開シンポジウムを企画しました。

第Ⅰ部では野家啓一氏をお招きし、『科学の解釈学』の「科学的理性批判」および『はざまの哲学』ともすり合わせて、牧野氏と対談をしていただきます。第Ⅱ部は近代日本哲学研究の第一線で活躍する諸氏による同書の合評会で、第Ⅲ部では、同書の《「へだたり」を哲学する》という基本精神を踏まえて、フロアの皆さまも交えて「人文学の使命」や「共生社会の模索」について意見交換をしたいと思います。

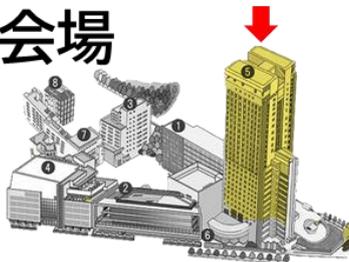
専門の哲学研究者のみならず、哲学に多少とも興味のある大学生・高校生はもちろん、一般市民の皆さまにも、是非とも気軽に足を運んでいただきたいと思います。

## プログラム

日時 2025年  
2月22日(土)  
13:00~17:30

法政大学市ヶ谷キャンパス  
ポアソナード・タワー  
スカイホール(26F)

## 会場



お申込みいただいた方のみ  
接続先をお知らせいたします。  
必ず事前申込をお願いいたします。

申込サイト:  
<https://forms.gle/hwwV2HWpyAgw4y4n7>

【導入】13:00~13:15(15分)	〈司会〉李彩華(名古屋経済大学教授)
開会の辞	横山泰子(法政大学国際日本学研究所長・教授)
シンポジウムの趣旨と進め方	宮島光志(法政大学国際日本学研究所客員所員)
「未来世界を哲学する」ために	森下直貴(浜松医科大学名誉教授)
【第Ⅰ部 総論】13:15~14:15(60分)	〈司会〉宮島光志
「歴史的理性批判」から「歴史的想像力の批判」へ	牧野英二(法政大学名誉教授)
『京都学派とデイルタイ哲学』に寄せて	野家啓一(東北大学名誉教授)
◆対談(牧野英二×野家啓一) —— 批判的精神を鍛え、脱領域的知性を育むために ——	
休憩15分	
【第Ⅱ部 各論】14:30~16:00(90分)	〈司会〉森下直貴
西田哲学とデイルタイ (第1章)	田中久文(日本女子大学名誉教授)
田辺哲学とデイルタイ (第2,3章)	森村修(法政大学教授)
和辻倫理学とデイルタイ (第4,5章)	犬塚悠(法政大学国際日本学研究所客員所員・名古屋工業大学准教授) *オンライン報告
三木哲学とデイルタイ (第6-8章)	森一郎(東北大学教授)
休憩15分	
【第Ⅲ部 共同討議】16:15~17:25(70分)	〈司会〉森下直貴・宮島光志
著者と登壇者の質疑応答	第Ⅰ部・第Ⅱ部の登壇者全員
フロアを交えた意見交換	登壇者+参加者(対面+オンライン)
【結び】17:25~17:30(5分)	〈司会〉李彩華
企画立案者の御礼	宮島光志
閉会の辞	内藤淳(法政大学教授)

\*情報交換会(18:00~19:00、参加費1,000円)を予定しています。



主催: 科研費「三木哲学と共生社会」研究班  
(名古屋哲学研究会・日本思想史部会)  
共催: 法政大学国際日本学研究所(HIJAS)  
協賛: 法政大学文学部哲学科・法政哲学会

